

平成30年8月9日

各 位

会社名 株式会社安江工務店
 代表者名 代表取締役社長 安江博幸
 (コード番号: 1439 東証JASDAQ・名証第二部)
 問合せ先 取締役 印田昭彦
 事業サポート部長
 (TEL 052-223-1100)

平成30年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成30年2月8日に公表いたしました平成30年12月期の第2四半期累計期間(平成30年1月1日～平成30年6月30日)の連結業績予想と実績の差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成30年12月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,051	42	41	27	20.82
実績(B)	1,958	4	4	△5	△4.45
増減額(B-A)	△92	△37	△37	△32	—
増減率(%)	△4.5	△89.8	△90.2	—	—

(注) 平成29年12月期第2四半期累計期間は連結決算を行っておりませんので、前期実績は記載していません。

2. 差異の理由

(1) 第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、主力の住宅リフォーム事業において、昨年6月の岡崎店開設ならびに本年1月の瀬戸尾張旭店の開設に伴い、集客件数は前年同期比12.2%増と好調だったものの、増員した人材の習熟度不足等により、契約率が前年同期比で5.2ポイント減、契約平均単価が同10.4%減となり受注が伸び悩んだことから、連結売上高は前回発表予想に対し4.5%減の1,958百万円となりました。

また、営業利益等につきましては、各セグメントにおいて原価の低減と経費削減に努めたものの、M&Aに係る一時的な費用27百万円の発生があり、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を下回る結果となりました。

(2) 通期

通期につきましては、連結子会社化による株式会社トーヤハウスの売上高が寄与することに加え、引き続き原価の低減によって売上総利益率を上期より0.8ポイント改善させるとともに、教育体制の充実を図り、業務効率の向上による経費削減に努めてまいります。

以上の状況を踏まえ、現時点における通期業績予想に関しましては、平成30年2月8日に公表した内容から変更はございません。

今後、現時点では予想不能な事態の発生により、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

(ご参考) 平成30年12月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績の差異 (平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,974	百万円 39	百万円 25	円 銭 19.89
実績 (B)	1,829	29	18	14.31
増減額 (B - A)	△144	△10	△7	—
増減率 (%)	△7.3	△27.4	△28.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年12月期)	1,676	△44	△34	△28.5